

## 地域マリンビジョンフォローアップ委員会における各地域への指導・助言（1 / 2）

地 域	内 容
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTに関しては北海道内の先進事例である厚岸の仕組みを参考にして、改善すべき点やコストなどを勉強するとよい。</li> <li>・六次産業化、マーケットインについて、色々な市場関係者や企業と情報交換すべき。</li> <li>・本州と比較して北海道におけるブルーカーボンのポテンシャルは非常に高いので、ブルーカーボンのクレジット化を念頭に入れた藻場造成や、産業対応の海藻、昆布等を育てる取り組みを開発局が率先してやっていただきたい。</li> <li>・太平洋に面した漁港が連携して津波対策（小型漁船の避難対策等）運動したらいい。</li> </ul>
遠別 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍を踏まえ、情報配信するプレーヤーを決めた方がよい。</li> <li>・人員や体制変化により、学校との関係が継続できなくなるのはもったいないので継続してほしい。</li> <li>・高校の授業で行われている「情報」という科目の実習として、遠別町の情報発信などが行えるとよい。</li> </ul>
苫前 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然エネルギーを活用した電気漁船への転換など、カーボンニュートラルの取り組みなども意識してビジョンを進めてほしい。</li> <li>・開発局と協力しながら、風力発電・雪氷熱等を活用したCO2フリー漁港というのをやってほしい。</li> <li>・流通適正化法を踏まえ、ナマコのエコラベル取得なども目指して欲しい</li> </ul>
積丹 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーカーボンのクレジット化を視野に入れてチャレンジしてほしい</li> <li>・積丹町、古平町単独のマリンビジョンではなく、合体したものをつくってもいいと思う。</li> </ul>
寿都 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポストコロナではリモートトラベルにも挑戦してみてもどうか。</li> <li>・アサリ等の港内蓄養・養殖に向けた港内基盤整備について要望して欲しい。</li> <li>・観光の視点に開発局の道路部隊が取り組んでいる「MaaS」を検討してほしい。</li> </ul>
奥尻 (推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊などを活用し海で働きたいという人を惹きつけるような広報活動を続け、漁業者の数を維持してほしい。</li> <li>・地域おこし協力隊の方をMV協議会に引き込んだらよいのではないかと。また、漁業研修風景を動画配信などでもいい。</li> <li>・ニジマス養殖について、生産量、採算性や流通販売方法、PR等をイメージしておく必要がある。養殖サーモンは出荷する時期が限られるため出荷時期をずらすなどの工夫があれば検討してほしい。</li> <li>・檜山、奥尻サイクルーズみたいなものとの連携して渚泊の取組（スキューバダイビング等）もできるのではないかと。</li> <li>・魚類養殖について何か取り組んでほしい。</li> </ul>
松前江良 (推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養殖について課題も示されているので、マリンビジョン協議会として、生産技術に関すること、例えば研究機関など外部組織との連携で解決を図る必要がある。</li> <li>・養殖施設について協議するため、もう少し詳細な情報を収集する必要がある。</li> <li>・大島、小島、江良、松前の広域連携を将来構想として検討するのが良いのではないかと。</li> </ul>
福島 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間引きコンブの活用方法として、三石地域のつけ昆布を参考にしてみてもどうか。</li> <li>・天然コンブよりも養殖コンブの方がブルーカーボンの取組はうまくいくというアピールをしてみてもどうか。</li> <li>・間引きコンブ規模拡大のための施設整備を早めに考えていくことが必要である。</li> <li>・昆布の乾燥について自動化や協業化の具体的な対策を考えて欲しい。</li> </ul>
函館(白尻) (推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海峡文化・縄文文化（垣ノ島遺跡）を広めるための食製品について、マリンビジョン協議会として補助することが出来るのではないかと。</li> <li>・MVの見直しについて早めに行った方がよい。</li> <li>・海藻のCO2固定化はおそらく日本一であるので、本州も含めて、中心となってブルーカーボンを推進していくことに取り組んでほしい。</li> <li>・ホッケやサバを蓄養についても検討し、魚類養殖も含めて全く新しい道を探り、発展してほしい。</li> </ul>
砂原 (推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貝殻処理の過程でCO2が排出されるならば、カーボンニュートラル・ブルーカーボンの観点から海に戻すという考え方が活かせるのではないかと。</li> </ul>

## 令和3年度

### 地域マリンビジョンフォローアップ委員会における各地域への指導・助言（2 / 2）

地 域	内 容
室蘭 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・地元の人も含めた交流人口対策、観光の部署との連携が必要だと思う。</li><li>・養殖、増殖をやるならば栽培水産試験場との連携をやっていただきたい。</li></ul>
登別・白老 (虎杖浜) (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・観光推進部会の立ち上げについて、進捗があれば報告してほしい。</li></ul>
三石 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・水産学習の推進、食育の推進として、例えば料理をしている様子や文教大学での授業の様子をあらかじめユーチューブ動画のような形で撮っておくとよい。</li><li>・漁港めし・ご当地グルメをどんどん積極的にフェイスブックやユーチューブで広めたらよい。</li><li>・BCPを策定しているということで、津波対策として操業中の避難対応についても協議すべき。</li><li>・フェイスブックの編集者について担当を決めないと情報発信が出来なくなってしまう。</li></ul>
様似 (推進)	<ul style="list-style-type: none"><li>・自然エネルギーの活用は、これから検討されるべき大事なテーマなので、何か実現していくと良い。</li></ul>
大津 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・赤潮の影響を踏まえ、新しい魚種の養殖に取り組むための静穏水域といった漁港整備を要望しても良いと思う。</li><li>・漁港背後の土地の有効活用として、陸上養殖も検討できるのではないかな。</li><li>・海流の影響等で資源が来遊しないという新たな災害に対応した漁業経営のセーフティネット対策のようなものや、あるいはもう一時的に国営化するような対策が必要だと考えている。</li></ul>
厚岸 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・豊かな海づくり大会においてマリンビジョンブースを作って出展したらどうか。</li><li>・水産業のICT化の取り組みについて、道内でもかなり先進的だと思うので、色々な地域の参考のため、初期費用のことや今のシステムで改良すべき点等、マリンビジョンの中で情報提供してほしい。</li></ul>
根室(落石) (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ネイチャークルーズ等の映像を世界に向けて発信することをしてもらいたい。</li><li>・フットパスは密にならない良い取組なので、コロナ後にはぜひ復活させてほしい。</li></ul>
根室(歯舞) (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・緊急避難情報伝達システムについて、北海道の太平洋側、それから岩手、青森と連携しながら進められれば事業がより進展しやすくなるのではないかな。</li><li>・ブルーカーボンやカーボンニュートラルについて非常に大きな可能性を持った地域なので、色々取り組んでほしい。</li></ul>
羅臼 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ブルーカーボンやカーボンニュートラルはぜひ検討してほしい。</li><li>・世界遺産にクルーズ船が直接着けるということは魅力的なので、クルーズ乗船客を屋外で待たせる必要がなくなるような対策を検討すべきである。</li></ul>
ウトロ (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・「鮭、日本一のまち観光資源化」は素晴らしい手法であり、成果も出ているので、他のマリンビジョン地域にも取り組みを報告してほしい。</li></ul>
サロマ湖 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍や人手不足の中、ホタテの自動殻剥き機は重要であるので、今後の開発等も進めて欲しい。</li></ul>
雄武 (モデル)	<ul style="list-style-type: none"><li>・流通適正化法が出来るので、地元の工場や輸出業者との協力のもと、ナマコに漁獲番号を付けてトレーサビリティを行う取組は続けていただきたい。</li></ul>